

一日目 琉球大学

羽田空港から那覇空港へ到着してすぐ、琉球大学千原キャンパスに向かいました。東京ドーム24個分という広大な敷地の中、今回のツアーでは「分子生



命科学研究施設」を見学しました。

サンゴやシロアリなどの、バイオサイエンスの研究のほか、感染症の研究やワクチンの開発といった、医学分野の研究もおこなわれています。

↑ Center Of Molecular Biosciences (分子生命科学研究施設)

【大規模な研究を可能にする設備！】

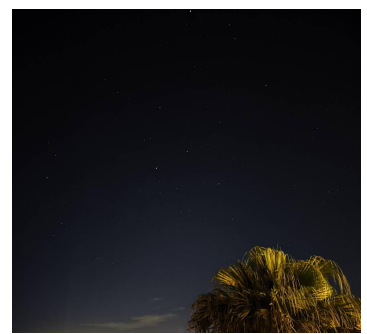
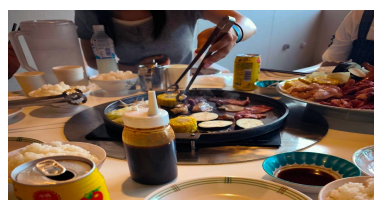
研究施設には、全国でも4つしかないP3実験室（バイオセーフティレベル3／BSL3施設）というものがあり、結核菌や危険性の高い病原体を安全に取り扱うことができる高度な実験室があります。

他にも様々な実験室や、高度な分析機器があるので、亜熱帯での多様な生物の研究をすることができます施設となっています。普段目にする機会のない設備が見られて貴重な経験でした。



【ホテルの隣には海が！？】

見学後はホテル「みゆきハマバルリゾート」に宿泊。客室を出た先にはビーチが広がり、沖縄の海を楽しみました。夕食の屋内バーベキューを満喫した後、大浴場で心も体も癒されて1日目を終えました。



2日目 OIST

講義①

トポロジーやグラフ理論といった普段の授業ではあまり触れないテーマを学びました。
爪楊枝とマシュマロを使って図形を作ったり、
2進数を用いた自分のイニシャルコースター作りなどの
アクティビティを楽しみながら、数学の新しい魅力
に触れることができ、貴重な経験になりました。



キャンパスツアー

OISTのキャンパスは丘の上に位置しているため、海や森を一望することができます。自然環境を守るために建物の形状を工夫したり、景観になじむよう瓦を1枚ずつ素焼きにしたものを使用していたりと、こだわりが詰まったキャンパスでした。

講義②

岩石や鉱物の講義を受けました。洞窟の岩石の断面は層状になっており、その要因を知りました。また、その層は数千万年もかけて出来上がったもので、その数字に驚きました。講義の後半にはさまざまな石を観察しました。石にはブラックライトを当てることで光るものもあり、神秘的でした。



講義③

神経にブルーライトを当てることで脳が活性化されて体が動くといった実験内容でした。実験映像でマウスにブルーライトを当てる映像を見ましたが光を与えられてる時だけ枝に噛みつく行動をとっており興味深いなと思いました。アクティビティでは縫合の体験を行い、ドラマで見ているような経験ができました。



3日目 DMMかりゆし水族館

全面鏡張りのクラゲエリアなど水槽の周りの造りが凝っていて、まわっていて飽きなかったです。きれいな写真が撮れたので個人的にも大満足でした。



バックヤードツアーでは魚の餌やりや動物の餌の調理場を見せてもらいました。水族館内のすべての生物への愛情がよく感じられました。

ホテルから水族館に向かうバスがSuicaにもPASMOにも対応していないというハプニングもありましたが無事見学を終えられました！あの時のみんなの協力プレイは記憶に残る思い出です。



那覇→東京

長い旅も終わりの時間が来て沖縄ともお別れの時間です。実は僕たちは一度も雨に降られることなくこのツアーを終えることができました。そんな運にも恵まれた素晴らしい3日間でした！

1年生のみなさん、中学生のみなさん、後悔しないのでぜひ参加しよう！！